



まち・川・緑とともに
大和川線

整備効果

臨海部と内陸部のアクセス向上

新たなルートの形成で地点間のアクセスが快適に

課題

臨海部と内陸部を直接結ぶ 高速道路が未整備

堺浜や大阪南港などから成る臨海部には、近年物流拠点や広域防災拠点などが設置され、その重要性はますます高まっています。その一方で、臨海部と松原市域や、奈良方面を行き来するためには大きく迂回するか、一般道を経由する必要があり、多くの時間がかかっていました。

整備効果

臨海部と内陸部の アクセスを向上

臨海部と内陸部を結ぶ大和川線が整備されることで、堺浜や大阪南港から松原市域や奈良方面への新しいルートが形成されます。交通が集中する大阪港線、松原線、一般道を使うルートと比較すると、最大**67%**の時間短縮が見込まれます。

